

事業等名 「新しい林業」に向けた林業経営育成対策（令和4年度要求）

担当部局

林野庁経営課

（現状・課題）

伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を可能とする「新しい林業」を実現するためには、低い生産性や高い労働災害率といった林業特有の課題を解決する必要がある。このため、造林・生産・販売等に係る先進的技術の導入を推進するとともに、経営体の経営力向上や労働安全対策の強化を推進することで生産性と労働災害率の改善を図り、「長期にわたる持続的な経営」を実現できる林業経営体を育成する。

（現状・課題を示すデータ）

・素材生産を行った経営体における主伐生産性（H30：7.14m³/人日、オーストリア：7～60m³/人日）
・林業における死傷年千人率（林業 R2：25.5、全産業 R2：2.3）

インプット

アクティビティ

アウトプット

アウトカム
（短期）

アウトカム
（長期）

インパクト

予算
（百万円）
R1:－
R2:－
R3:－
R4:1,542

- ・全国で選定された林業経営体における経営モデルの実証・構築
- ・民間団体による、施業の集約化や木材の有利販売を担う、全国に展開する森林プランナーの育成
- ・民間団体による、林業経営体等に対する労働安全の推進

- ・「新しい林業」経営モデル実証に取り組む経営体数
- ・「新しい林業」経営モデルの構築数
- ・森林プランナーの認定数
- ・安全診断を実施した事業体数

- ①モデル事業参画事業体の生産性向上及び普及
指標①
- ②森林施業プランナーが集約化した森林において「新しい林業」に取り組む経営体の増加
指標②
- ③伐倒作業に係る死傷災害の減少
指標③

- ④林業の生産性向上
指標④
- ⑤林業労働災害の大幅削減
指標⑤

「長期にわたる持続的な経営」を実現できる林業経営体を育成

指標①

・モデル事業参画経営体の主伐生産性
R6目標:11m³/人日（R3現状: R 4 把握予定）

指標②

・認定林業事業主※の主伐生産性
R10目標:11m³/人（R3現状: R 4 把握予定）
※うち意欲と能力のある林業経営者として公表されている者

指標③

・チェーンソー及び伐木等による死傷災害の件数
R10目標:330件以下（R元現状:672件）

指標④

・素材生産を行った経営体における主伐生産性
R12目標:11m³/人日（H30現状:7.14m³/人日）

指標⑤

・林業における死傷年千人率
R12目標:12.8（R2 現状:25.5）

外部の影響要因

- ・森林・林業基本計画
- ・自動化機械等、生産性や安全性の向上に繋がる新たな技術の開発